

シリーズ“暮らしつづけたいまち”を目指して

第5次朝霞市総合計画の将来像「私が暮らしつづけたいまち 朝霞」。
“暮らしつづけたいまち”と思えるまちを目指した4つの基本概念（コンセプト）
の取り組みを紹介していきます！

問／政策企画課 463-3089



安全・安心な
まち

～無線LANで安全、便利なまちへ～

災害時には通信制限により電話やインターネットがつながりにくい状態になります。平成28年に熊本地震が発生した際には被災地で無線LANが解放され、無料でインターネットへ接続することができ、災害情報の取得や安否確認の連絡等に役立ち、有効な通信手段となりました。

市内の各公民館、市民センター、図書館にはすでに普段から利用できる無線LANが設置してありますが、今年度さらに避難所となり得る市内の小中学校の体育館に、災害時に使用できる無線LAN機器の設置を進めました。



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の射撃競技

大会の射撃郷里では、国内外から多数の方が訪れることが想定され、無線LANが設置されたフリースポットがあることにより、手軽に情報を得ることができ、訪れた方々も手軽に情報を得ることができ、訪れた方々にとっても大変便利です。

市では災害時の安全・安心の面でも、利便性の面においても、それぞれの活用シーンを想定しながら通信手段の確保を進めていきます。

問／危機管理室
463-1788



～メール配信で安心を届けます～

市内公営保育園に在園する児童の保護者を対象に、迅速に知らせる必要のある情報を登録メールに配信するサービスを始めています。不審者情報や、災害情報、園の行事など、いち早く知りたい情報が、保護者の手元に届くしくみです。

保育園にわが子を預け、大雨が降る度にお迎えを心配しているある保護者の方は、このメール配信サービスの開始と同時に登録をしました。地震や台風などの災害により保育園に影響がある場合には、園児は近隣の公共施設などへ避難しますが、メール配信サービスに登録をしたことで、どこへお迎えに行けばいいかをいち早く知ることができるようになりました。

ひとは、正確な情報を知り、安全を確認できて、ようやく安心することができます。このことから、メール配信サービスでは、事態が収束した際はその旨を配信するようにしています。市ではこれからも、このサービスを通して市内園児の安全・安心に配慮していきます。

問／保育課
463-2939

